

名古屋市立大学医学部附属
みどり市民病院
公的医療機関等2025プラン

令和6年1月 策定

【みどり市民病院の基本情報】

医療機関名：名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院

開設主体：公立大学法人名古屋市立大学

所在地：愛知県名古屋市緑区潮見が丘一丁目77番地

許可病床数：205床

（病床の種別）

一般病床：205床

（病床機能別）

急性期：100床 回復期：105床

稼働病床数：200床

（病床の種別）

一般病床：200床

（病床機能別）

急性期：100床 回復期：100床

※令和6年2月回復期5床稼働予定

診療科目：31科

内科、消化器内科、呼吸器・アレルギー疾患内科、リウマチ科、循環器内科、内分泌・糖尿病内科、血液・腫瘍内科、脳神経内科、腎臓内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、乳腺外科、形成外科、整形外科、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、泌尿器科、精神科、放射線科、麻酔科、脳神経外科、救急科、リハビリテーション科、病理診断科、臨床検査科

職員数：常勤226人（令和5年10月1日現在）

医師	30人
薬剤師	10人
看護職員	114人
管理栄養士	4人
放射線技師	10人
理学療法士	9人
作業療法士	3人
臨床検査技師	11人
臨床工学技士	2人
視能訓練士	1人
言語聴覚士	2人
その他	30人

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

(人口の見通し)

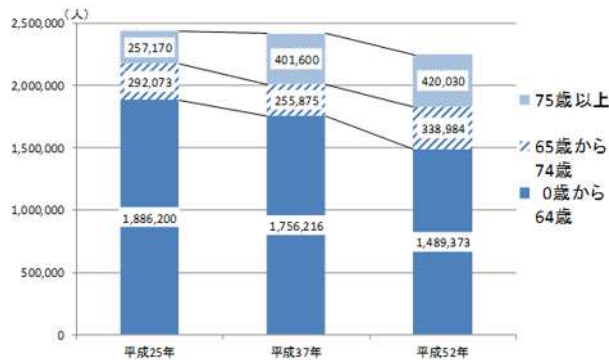
- 名古屋医療圏は、県内人口の3割以上が集中しており、全国的にも大阪市医療圏、札幌医療圏に次いで3番目に人口が多い2次医療圏となっています。
- 総人口は県全体と同様の推移で減少します。65歳以上は増加していき、県全体より増加率は高くなっています。

<人口の推移>

※ () は平成25年を1とした場合の各年の指数

区分	総人口			65歳以上人口			75歳以上人口		
	平成25年	平成37年	平成52年	平成25年	平成37年	平成52年	平成25年	平成37年	平成52年
県	7,434,996 (1.00)	7,348,135 (0.99)	6,855,632 (0.92)	1,647,063 (1.00)	1,943,329 (1.18)	2,219,223 (1.35)	741,801 (1.00)	1,165,990 (1.57)	1,203,230 (1.62)
名古屋・尾張中部	2,435,443 (1.00)	2,413,691 (0.99)	2,248,387 (0.92)	549,243 (1.00)	657,475 (1.20)	759,014 (1.38)	257,170 (1.00)	401,600 (1.56)	420,030 (1.63)

<名古屋・尾張中部構想区域>



(医療資源等の状況)

- 病院数が多く、また、大学病院（特定機能病院）が2病院あり、救命救急センターも7か所整備されている。
人口10万対の病院の一般病床数や医療従事者数は県平均を大きく上回っており、医療資源が豊富。
- DPC調査結果によると、圏域内において、ほぼ全ての主要診断群の入院及び救急搬送実績があり、緊急性の高い傷病（急性心筋梗塞・脳卒中・重篤な外的障害）及び高齢者の発生頻度が高い疾患（成人肺炎・大腿骨骨折）の入院実績があり、病院数及び実績数が他圏域と比べ著しく多いことから、圏域内の急性期入院機能が充実していると考えられる。
- 消防庁データに基づく救急搬送所要時間については県平均とほぼ同様であり、DPC調査データに基づく緊急性の高い傷病（急性心筋梗塞・再発性心筋梗塞、くも膜下出血・破裂脳動脈瘤、頭蓋・頭蓋内損傷）の入院治療を行っている施設までの移動時間は、30分以内で大半の人口がカバーされていることから、医療機関への交通アクセスや医療機関の受け入れ体制等に大きな問題が生じていないと考えられる。

○ 高度な集中治療が行われる特定入院料の病床については、平成28年3月現在、圏域内（18病院）において、救命救急入院料・特定集中治療室管理料（ICU）・新生児特定集中治療室管理料（NICU）・総合周産期特定集中治療室管理料（MFICU）・ハイケアユニット入院医療管理料（HCU）・新生児治療回復室入院医療管理料（GCU）の届出がされている。

○ 平成25年度(2013年度)NDBデータに基づく特定入院料の名古屋医療圏の自域依存率は高い状況にあります。脳卒中ケアユニット入院医療管理料（SCU）については尾張東部医療圏へ患者の流出があります。尾張中部医療圏の自域依存率は0%であり、主に名古屋医療圏及び尾張北部医療圏へ患者が流出している。

<医療資源等の状況>

区分	愛知県①	名古屋・尾張中部②	②/①
病院数	325	137	—
人口10万対	4.4	5.6	127.8%
診療所数	5,259	2,166	—
有床診療所	408	130	—
人口10万対	5.5	5.3	97.1%
歯科診療所数	3,707	1,517	—
人口10万対	49.9	62.3	124.8%
病院病床数	67,579	25,978	—
人口10万対	908.9	1,066.7	117.4%
一般病床数	40,437	16,748	—
人口10万対	543.9	687.7	126.4%
療養病床数	13,806	4,493	—
人口10万対	185.7	184.5	99.3%
精神病床数	13,010	4,604	—
人口10万対	175.0	189.0	108.0%
有床診療所病床数	4,801	1,573	—
人口10万対	64.6	64.6	100.0%

区分	愛知県①	名古屋・尾張中部②	②/①
医療施設従事医師数	14,712	6,538	—
人口10万対	197.9	268.5	135.7%
病床100床対	20.3	23.7	116.9%
医療施設従事歯科医師数	5,410	2,270	—
人口10万対	72.8	93.2	128.0%
薬局・医療施設従事薬剤師数	10,525	4,065	—
人口10万対	141.6	166.9	117.9%
病院従事看護師数	36,145	14,310	—
人口10万対	486.1	587.6	120.9%
病床100床対	49.9	51.9	104.1%
特定機能病院	4	2	—
救命救急センター数	22	6	—
面積(km ²)	5,169.83	368.34	—

(入院患者の受療動向)

【名古屋医療圏】

○ 入院患者の自域依存率は、高度急性期、急性期、回復期は9割程度と非常に高い水準にあります。また、他の2次医療圏や県外からの患者の流入も多くみられます。

<平成25年度の名古屋医療圏から他医療圏への流出入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

患者住所地	医療機関所在地													合計	
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外		
名古屋医療圏	高度急性期	1,321	*	*	154	*	16	16	*	*	*	*	*	*	1,507
		87.7%	—	—	10.2%	—	1.1%	1.1%	—	—	—	—	—	—	100.0%
	急性期	3,735	*	16	414	10	48	16	*	*	*	*	*	*	4,239
		88.1%	—	0.4%	9.8%	0.2%	1.1%	0.4%	—	—	—	—	—	—	100.0%
回復期	3,819	79	26	270	13	56	20	*	*	21	*	*	21	4,325	
	88.3%	1.8%	0.6%	6.2%	0.3%	1.3%	0.5%	—	—	0.5%	—	—	0.5%	100.0%	
慢性期	2,191	36	119	117	12	84	46	29	*	22	*	16	71	2,743	
	79.9%	1.3%	4.3%	4.3%	0.4%	3.1%	1.7%	1.1%	—	0.8%	—	0.6%	2.6%	100.0%	

(地域医療構想における機能別必要病床数の推計)

- 愛知県においては、現在の医療提供体制が変わらないと仮定し、現在の流入・流出の状況が平成37年（2025年）も続くものとして、医療機関所在地ベースで必要病床数を推計しています。
- 名古屋・尾張中部構想区域の平成37年度の必要病床数は、平成27年度の病床数と比較すると、全体で483床の減少、病床別では、回復期は5,450床（+264.7%）の増加、高度急性期は3,720床（-56.3%）、急性期は1,171床（-12.7%）、慢性期は1,042床（-22.6%）の減少を見込んでいます。

<平成27年度病床機能報告結果と平成37年必要病床数との比較>

(単位：床)

構想区域	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
名古屋 ・尾張中部	平成37年の必要病床数①	2,885	8,067	7,509	3,578	22,039
	平成27年病床機能報告	6,380	8,923	1,989	4,463	21,755
	平成27年の病床数②	6,605	9,238	2,059	4,620	22,522
	差引(①-②)	△ 3,720	△ 1,171	5,450	△ 1,042	△ 483

(出典：愛知県地域医療構想 平成28年10月)

② 構想区域の課題

- 大学病院（特定機能病院）が2病院あり、救命救急センターも7か所整備されている等、高度な医療を広域に支える役割があり、今後も高度・専門医療を確保し、緊急性の高い救急医療について、他の構想区域との適切な連携体制を構築していく必要がある。
- 人口が多く、面積も広いため、構想区域内の医療提供体制の地域バランスに留意する必要がある。
- 回復期機能の病床を確保する必要がある。

③ 自施設の現状

○ 理念

地域の健康未来を創造する大学病院として、安全で高度な医療の提供とともに地域医療の持続的発展に貢献する医療人を育成します。

○ 基本方針

- ・ 急性期医療及び回復期医療をワンストップで提供し、「治し支える医療」を実践します。
- ・ 安全で高度かつ先進的な医療の創出とともに、地域医療のニーズに的確・迅速に応えます。
- ・ 地域包括ケアシステムの深化・発展に寄与し、地域との調和及び共生を目指します。
- ・ 「地域を診る心」と「常に学ぶ心」を大切にす誠実で優れた医療人を育成します。
- ・ 先制的かつ集学的な予防医学研究の推進により健康社会の実現に貢献します。

○ 令和5年10月診療実績

- ・ 病床稼働率 : 急性期 76.7 % (76.9%) 回復期 64.1 % (66.3%)
 - ・ 平均在院日数 : 急性期 16.8 日 (16.2日) 回復期 24.3 日 (29.5)
 - ・ 新入院患者数 : 195 人 (184人)
 - ・ 手術件数 : 70 件 (59件)
 - ・ 医薬材料費比率 : 13.2% (21.4%)
- ※括弧内は8月～10月の3か月平均実績

○ 自施設の特徴

- ・ 二次救急医療
- ・ 新興感染症発生・まん延時における医療

④ 自施設の課題

当院においては老朽化した医療ハードの再整備が課題となっています。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

- ・ 将来における医療の質・量の変化に適切に対応すべく、地域医師会・ブロック内病院群との一層の役割分担を図り、連携・協働を推進し以下の役割を担ってまいります。
 - ア 地域医療の深化・発展に貢献できる医療人を育成いたします。
 - イ 先制医療を含めた予防医学研究を推進し地域医療に還元できるよう尽力いたします。
 - ウ 地域医療機関のご協力をいただきながら、地域医療支援病院の指定を目指してまいります。
 - エ 安全で高度な高齢者医療や二次救急、小児・産科医療を実施いたします。
 - オ 新興感染症を含めた感染症治療に積極的に対応いたします。
 - カ 医療DXの実証・実装の場となり、医療のみならず地域包括ケアシステムの深化・発展に資する情報発信に努めてまいります。

② 今後持つべき病床機能

現在の急性期及び回復期病床に加え、救急の受け入れをワンストップで行うことや、入院患者の急性増悪などの対応のため、ハイケアユニットなどの高度急性期病床20床並びに急性期病床120床の増床を予定しています。

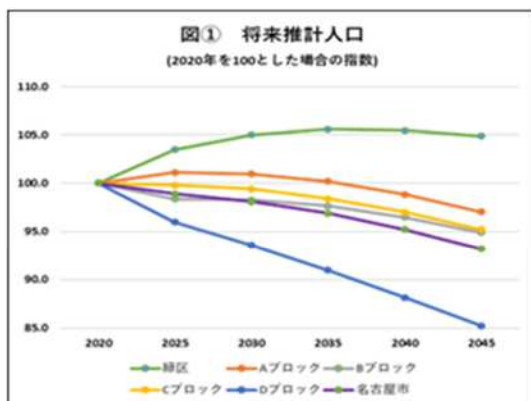
③ その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

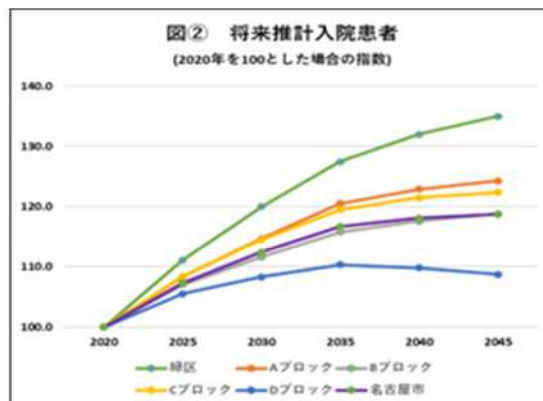
① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

【医療需要推移】



【出典】 国立社会保障・人口問題研究所(2018年3月推計)、
国勢調査(2020年度)



【出典】 国立社会保障・人口問題研究所(2018年3月推計)、
厚生労働省 患者調査(2020年度)
【計算式】 各年の将来推計人口×患者調査(性・年齢階級別受療率)

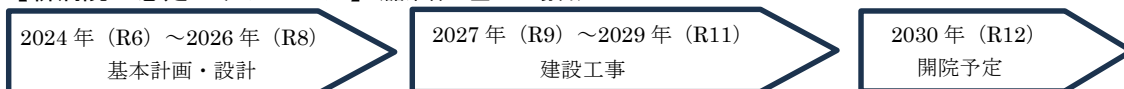
Cブロックの人口は減少傾向にあるものの緑区の人口は2035年まで増加傾向が続くことが予測されています。(図①)

また、緑区は将来推計入院患者も市全体や各ブロックに比べ高い増加率が見込まれています。(図②)

病床機能報告データ等で試算した結果、緑区では2045年に急性期病床177床が不足すると見込まれます。(表①)

以上のことから、みどり市民病院は以下のスケジュールで名鉄鳴海駅北側(現病院から直線距離約850m)へ移転新築するとともに、名古屋市立大学医学部附属病院群にて病床再編を行います。

【新病院の想定スケジュール】(諸条件が整った場合)



表① 病床機能報告の実績と将来推計入院患者増減率から試算した2045年に不足が見込まれる病床数

区分	2021年度病床機能報告データ		2020年～2045年増加見込		稼働率(E) 地域医療構想の推計で 用いられている率	必要 病床数(F) (D)÷(E)	不足が見込 まれる病床数 (F)-(A)	
	病床数 (A)	延べ入院患者数 (B)	想定患者数(C) (B)×図2増減率	患者数/日(D) (C)÷365				
Cブロック	高度急性期	1,640	424,307	456,793	1,251	75%	1,669	29
	急性期	1,561	403,124	480,714	1,317	78%	1,689	128
	回復期	833	248,254	285,921	783	90%	871	38
緑区	高度急性期	0	—	—	—	75%	—	—
	急性期	511	144,936	195,702	536	78%	688	177
	回復期	307	89,513	120,866	331	90%	368	61

※地域医療構想における必要病床数の計算は「2013年入院医療需要(レセータ等)÷「2013年性・年齢階級別人口」×「2025年将来推計人口」÷「病床稼働率」となっています。同じ計算式を用いて区単位の必要病床数を計算するためには区単位のレセータが必要となりますが、構想区域単位でしか公開されていないことから、オープンデータで唯一区単位で集計可能な「病床機能報告データ」(20床未満除く)に図②で算出した2020年から2045年までの将来推計入院患者の増減率を掛け、地域医療構想の計算式に用いられている病床稼働率で除した以下の計算式により2045年の必要病床数を試算し表①を作成しています。

$$\text{「2021年病床機能報告(2020年度患者実績)」} \times \frac{\text{2045年将来推計人口} \times \text{2020年度患者調査(性・年齢階級別受療率)}}{\text{2020年将来推計人口} \times \text{2020年度患者調査(性・年齢階級別受療率)}} \div 365 \text{日} \div \text{「病床稼働率」}$$

【名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院 +140床】

	現在 (令和5年度病床機能報告)		将来 (2030年度)
高度急性期	0	→	20
急性期	100		220
回復期	55		105
慢性期	0		0
休床	50		0
(合計)	205		345

(参考 名古屋市立大学病院 ▲60床)

	現在 (令和5年度病床機能報告)		将来 (2030年度)
高度急性期	725	→	675
急性期	47		37
回復期	0		0
慢性期	0		0
(合計)	772		712

※精神科病床（28床）は含まない。

(参考 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター ▲40床)

	現在 (令和5年度病床機能報告)		将来 (2030年度)
高度急性期	274	→	254
急性期	214		194
回復期	0		0
慢性期	0		0
(合計)	488		448

※感染症病床（10床）及び新型コロナウイルス感染症患者専用病床（22床）は含まない。

(参考 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター ▲40床)

	現在 (令和5年度病床機能報告)		将来 (2030年度)
高度急性期	261	→	249
急性期	239		211
回復期	0		0
慢性期	0		0
(合計)	500		460

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

<u>医療提供に関する項目</u>	
・ 病床稼働率	: 急性期 83.2 % 回復期 84.8 %
・ 平均在院日数	: 急性期 13.2 日 回復期 38.5 日
・ 新入院患者数	: 217 人 / 月
・ 手術件数	: 46 件 / 月
<u>経営に関する項目*</u>	
・ 医薬材料費比率	: 26.1 %
その他 :	

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)

--

(参考)

【公的医療機関等2025プランの修正について】

※該当部分抜粋

(名古屋市立大学病院 ▲60床)

	現在 (令和5年度病床機能報告)		将来 (2030年度)
高度急性期	725	→	675
急性期	47		37
回復期	0		0
慢性期	0		0
(合計)	772		712

※精神科病床(28床)は含まない。

(名古屋市立大学医学部附属東部医療センター ▲40床)

	現在 (令和5年度病床機能報告)		将来 (2030年度)
高度急性期	274	→	254
急性期	214		194
回復期	0		0
慢性期	0		0
(合計)	488		448

※感染症病床(10床)及び新型コロナウイルス感染症患者専用病床(22床)は含まない。

(名古屋市立大学医学部附属西部医療センター ▲40床)

	現在 (令和5年度病床機能報告)		将来 (2030年度)
高度急性期	261	→	249
急性期	239		211
回復期	0		0
慢性期	0		0
(合計)	500		460